

東北地方 観光案内所通信

(令和8年3月号)

発行元：東北運輸局観光部観光企画課
問合せ先：022-791-7509

第30号目次

- 第9回東北地方観光案内所協議会を開催いたしました！
- 「東北地方の観光案内所一覧」の更新について
- ワンダーコンパス別府の取り組みのご紹介
- 【お知らせ】観光庁補助事業について
- 蔵王温泉と山寺と、四季が楽しめるまち・山形市 ○編集後記
(山形駅観光案内所より)

第9回東北地方観光案内所協議会を開催いたしました！

令和8年1月29日、30日に仙台市で、約7年ぶりに対面形式で第9回東北地方観光案内所協議会を開催いたしました。今回は、構成員・オブザーバー以外にも市町村の観光案内所や関係機関等の皆様にも周知し、1日目は31名、2日目は24名にご参加いただきました。

【1日目】

まず、事務局から今年度の活動状況の報告、次年度の取り組みについてご説明いたしました。また、この東北地方観光案内所通信を市町村等の観光案内所の皆様に直接送付すること、当局HPで公開を行うことについて協議を行い、ご承認いただきました。

その後は、各構成員から今年度の取組状況の報告をいただき、当局の実証事業（訪日観光客の滞在エリアに応じた観光情報・緊急情報の提供一元化に関する実証事業）の視察を行いました。



【2日目】

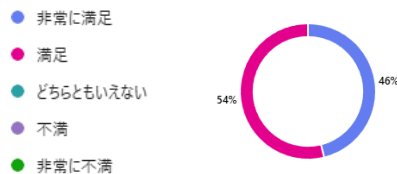
初めに、関係機関（日本政府観光局等）より情報提供をいただきました。また、JNTOの認定外国人観光案内所の表彰において、受賞歴があるワンダーコンパス別府の稲積京子様にお越しいたごき、取り組みについてご講演いただきました。

その後は、2班に分かれてワークショップを行い、意見交換や情報交換を行いました。



【アンケート結果】

協議会へ参加した満足度は、非常に満足46%、満足54%と非常に好評



【出席者の声】

- ・それぞれの取組内容の詳細をお伺いできたこと、また、ワークショップでは課題共有や課題へのアプローチ案が活発に話し合われて良かったです。
- ・他自治体の観光関係の方々との情報交換が大変参考になりました。
- ・稲積様の講演、スタッフの育成や問題の解決策に凄く共感した。是非参考にしていきたい。



ワンダーコンパス別府の取り組みのご紹介



講演者 稲積 京子氏 ワンダーコンパス別府

一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK BIP 事業部マネージャーとして、ワンダーコンパス別府の運営に携わる。ワンダーコンパス別府は、JNTOの認定外国人観光案内所の表彰において、2022年度は「連携強化」部門、2024年度は「訪日客へのホスピタリティ」部門、2025年度は「案内所におけるユニバーサル対応」部門で受賞。2020年から3年間大分県の案内所が連携して相互送客に取り組んだ。現在では九州全体で連携協力できるよう取り組んでいる。



ワンダーコンパス別府の概要

別府駅の東口より徒歩1分の場所に位置し、JNTOの認定制度ではカテゴリー3を取得。

スタッフは総勢30名で、うちシニアスタッフ5名、外国人スタッフ7名（タイ、中国、マレーシア、イタリア、アメリカ）が在籍。

2024年度の来訪者数は、日本人は79,449人、外国人は82,504人で中国・韓国・香港・台湾の順に多い。



Instagramでの情報発信

2024年7月より動画制作未経験から、Instagramでの動画投稿をスタートし、現在では約200本の動画を投稿。案内所スタッフや来訪者も出演し、別府の観光情報やよくある質問等を多言語で発信しています。

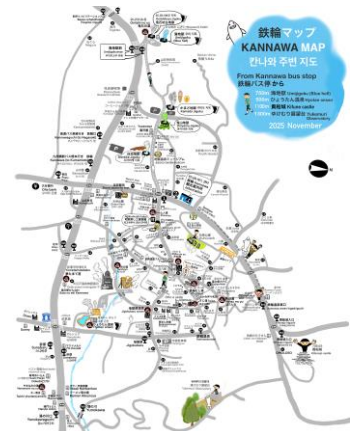
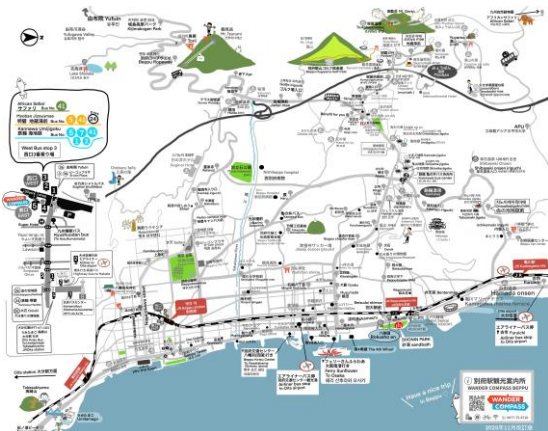


オリジナルマップの作成

交通情報や観光スポット、飲食店の情報等のオリジナルマップを作成。スタッフが実際に街を歩いて情報収集するとともに、LINEを活用する等スタッフ間で情報共有を行うことできめ細かい情報、本当におすすめできる情報を掲載。また、スタッフの意見を取り入れ、スタッフが案内しやすいマップに改善しております。

人材育成

ネイティブのスタッフ以外のスタッフも多言語で対応できるように養成。基本的にスタッフは中国語と韓国語を話せるようにしており、また、それぞれの得意な言語でサポートし合えるような態勢を整えています。



蔵王温泉と山寺と、四季が楽しめるまち・山形市 (山形駅観光案内所より)

山形市の特色

山形市は、樹氷で知られる蔵王温泉スキー場が国内外から多くの観光客を迎え、四季を通じて温泉地としても高い評価を得ております。

また、市内北東部に位置する山寺（立石寺）は、松尾芭蕉の句でも知られる霊場であり、千段を超える石段を登る参拝体験や、山上から望む絶景が多くの訪問者を魅了しています。さらに、山形駅周辺には、山形城跡（霞城公園）を中心とした歴史的景観があり、街歩きに適しています。



芋煮やそば、冷やしラーメンなど山形ならではの食文化も山形市の魅力です。加えて、山形市は交通アクセスの面でも利便性が高く、山形新幹線により東京方面からの移動が容易であるほか、県庁所在地でお隣同士の仙台市とは高速バスや鉄道、高速道路により短時間で往来できるなど、広域的な観光周遊の拠点としても優れた立地条件を備えております。



観光案内所について

JR山形駅、改札前の待合室にある「山形駅観光案内所」は列車やバスを利用する観光客が多く、交通の問い合わせの他、山形駅周辺の市街地観光、蔵王温泉、山寺についてのお問い合わせが多数です。

近年は、蔵王の樹氷や雪景色がインバウンドのお客様に人気となっております。

場所：山形市香澄町1-1-1 山形駅待合室内

時間：9：00～17：30（常時1人対応）

年間利用者数：67,438人（2024年4月～2025年3月）

「東北地方の観光案内所一覧」の更新について

東北運輸局では、平成29年度開催の観光案内所協議会にて構成員の皆様からの承諾を得て東北地方における観光案内所一覧表を作成して以来、定期的に情報の更新を行っております。この度、構成員の皆様にもお力添えいただきながら、令和7年12月末時点での情報への更新が完了いたしましたのでご報告いたします。一覧表につきましては、東北運輸局観光部のホームページ内「東北六県における観光案内所一覧」よりExcel形式でご覧いただけます。下記URLよりご確認ください。

URL : https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/ks-sub02/ks-sub02_002.html

【お知らせ】観光庁補助事業について

地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業



事業目的・背景・課題

- 災害の激化・頻発化や訪日外国人旅行者の増加に伴い、訪日外国人旅行者が、旅行中に災害に遭うケースや医療機関を受診するケースの増加が見込まれる。
- 更なる地方誘客促進に向けて、訪日外国人旅行者が日本各地を安全・安心に訪れることができる旅行環境整備が必要であり、地域における観光客を含めた危機管理体制の検討・構築、クマの出発情報など多言語での正確な情報発信、観光施設等における非常時対応機能強化、医療機関におけるキャッシュレス決済等の整備等を推進する。



事業内容

- ① 地域における観光危機管理計画の策定補助
 - ・ 各地域における訪日外国人旅行者を含めた観光客に対する災害時の対応方針等の計画策定を支援する（既存の地域防災計画等について観光に関する記載を追記・拡充する対応も支援対象）。
- ② 観光施設等の避難所機能・多言語対応機能の強化
 - ・ 訪日外国人旅行者等の安全・安心確保のため、観光施設等における非常用電源装置や災害用トローン、熱中症対策設備等の整備、クマの出発情報など多言語での正確な情報発信の環境整備等を支援する。
- ③ 医療機関の訪日外国人患者受入機能の強化
 - ・ 訪日外国人旅行者が医療機関を受診する場合の利便性向上に向けて、キャッシュレス決済の導入、医療機関内の多言語化等の環境整備を支援する。

事業イメージ



事業スキーム

- ①：直接補助事業（都道府県の場合：補助率2/3、上限500万円。市区町村の場合：補助率1/2（市区町村が所在する都道府県が策定済み又は策定予定とみなせる場合には、補助率2/3）、上限500万円。 直接補助対象：地方公共団体
- ②：直接補助事業（補助率1/2） 直接補助対象：民間事業者、地方公共団体、DMO等
- ③：直接補助事業（補助率1/2） 直接補助対象：民間事業者等

担当課室：観光庁 参事官（外客入）

オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の受入環境整備の促進

令和8年度予算額 10,000百万円



事業目的・背景・課題

- 一部の地域・時間帯における観光客の過度な集中やマナー違反問題など、我が国における観光課題が顕在化している状況。
- インバウンドの更なる受入れに対する国民の不安を払拭し、観光を我が国における「戦略産業」として持続的に発展させていくためには、局所的・短期的な対応が中心となっていたこれまでの対策に加えて、地域の方々の理解の下、中長期的な視点からより実効性のある面的な対策を一層促進していく必要がある。

事業内容

- ① 補助事業
 - 地域における観光施策のとりまとめ・旗振り役である地方公共団体、観光地地づの法人（DMO）が中心となり、各地域が現在直面している課題／今後抱える課題に地域一体で行う様々な取組、包括的・総合的に支援する。また、民間事業者をはじめ、宿務の受入環境整備に係る取組についても、きめ細やかな支援を行う。
 - ※1 ハード整備の推進・実施に係る取組を含む
 - 特に、ソフト的・対症療法的な対策のみならず、中長期的な視点から安定的・持続的に支援できるような、複数年にわたる取組についても支援することとする。また、補助対象から観光庁、地方公共団体が休まず支援を行い、地域の方々の理解の下、より実効性のある対策の加速化を図っていく。
- ② 調査事業
 - 我が国における観光課題の情報を収集し、生じている地域・エリアに提供することで、スピード感を重視した対策の造成を支援するほか、多様な媒体を通じてマナー啓発、手ぶら観光サービスの普及・浸透に合わせた調査等を実施する。

事業イメージ



事業スキーム

- 事業形態：① 直接補助事業（補助率 2/3（補助上限額：2億円）、1/2（補助上限額：0.5億円）、② 調査事業等
- 補助対象：① 国一民間事業者一地方公共団体、登録DMO、民間事業者等 ② 民間事業者等・事業期間：令和8年度～

担当課室：観光庁 参事官（外客入）

令和7年度補正予算事業「地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業」

公募期間：令和8年2月2日（月）～令和8年9月25日（金）※17時必着

詳細は以下のURLからご覧ください。

URL : https://www.mlit.go.jp/kankocho/kobo08_00055.html

令和8年度「オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の面的受入環境整備促進事業」

計画申請受付締切：令和8年5月29日（金）12:00【締切厳守】

※事前着手届出制度を活用する場合：令和8年4月17日（金）12:00【締切厳守】

※本事業は令和8年度の政府予算の成立を前提としたものとなります。そのため、今後の動向に応じて記載内容や制度部分等に変更が生じる場合があります。ご留意ください。詳細は以下のURLからご覧ください。

URL : https://www.mlit.go.jp/kankocho/kobo08_00057.html

ご不明な点がございましたらお問い合わせください。
 （ご連絡先）東北運輸局観光部観光企画課
 Mail:tht-kankou-kankoukikaku@gxb.mlit.go.jp
 Tel:022-791-7509

～編集後記～

今年度も東北地方観光案内所協議会の活動にご協力いただきありがとうございました。来年度も引き続き観光案内所の皆様のお力になれるよう活動を行って参ります！